

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2011年09月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000032"/>	整理番号 <input type="text" value="11512"/>	担当者 <input type="text" value="峯崎 隆司"/>
表題	<input type="text" value="人工心臓血栓モニター"/>		
技術分野	<input type="text" value="電気・電子"/>	<input type="text" value="生活・文化"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="人工心臓に応用可能な計測装置、飛行機内のエコミー症候群の未然防止"/>		
目的	<input type="text" value="従来の赤血球モニターでは血栓の形成状況を正確に把握できない。本発明ではその課題を解決するために、赤血球の界面における電気二重層容量が赤血球の表面積の関数となることに着目し、赤血球の凝集状態の変化を迅速かつ正確に検知することができる赤血球モニター及び赤血球のモニタリング方法を得ることを目的とする。"/>		
技術概要	<input type="text" value="本発明の基本コンセプトは次の通りである。1)人工心臓の直径10mmの動脈流路断面で交流を印加しφ8xt3(μm)の赤血球と30-100μm程度の血球塊の状態で、多次元の点にインピーダンスを高速で計測する。2)赤血球がバラバラに通過したか、血球塊になって通過したかを判定することが、キーテクノロジーになる。プロセス・トモグラフィ法を交流化することで、同体積であっても、血球塊の表面積の違いを検知できる。赤血球表面に形成される電気二重層は表面積の関数となる。プロセス・トモグラフィ法では、1MHz程度の交流を用いることで、電気二重層の時間遅れを検出し、赤血球の体積が同じであっても血栓の断面濃度分布を可視化計測する。溶血は赤血球よりもレジスタンスが小さくなることより可視化計測可能となる。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp